

一般会計決算を不認定

機構改革も見直しを迫る

9月定例会を5日から21日間の会期で開き、平成30年度各会計決算、令和元年度補正予算などを審議しました。

平成30年度一般会計歳入歳出決算では、同和対策事業の地区活動費補助金の使途や在り方、戦没者追悼式の消耗品として購入した町長着用の正装礼服購入の是非などを巡り賛否が分かれ、採決の結果、賛成少数で不認定となりました。決算審査の結果、発議した決議案2件は全会一致で可決し、機構改革の見直しを強く迫りました。(関連5・9ページ)

そのほかに上程された31議案は原案通り可決しました。



戦没者追悼式

毎年869人の戦没者を追悼しているが、30年度は町長が着用する礼服(8万円)を購入した

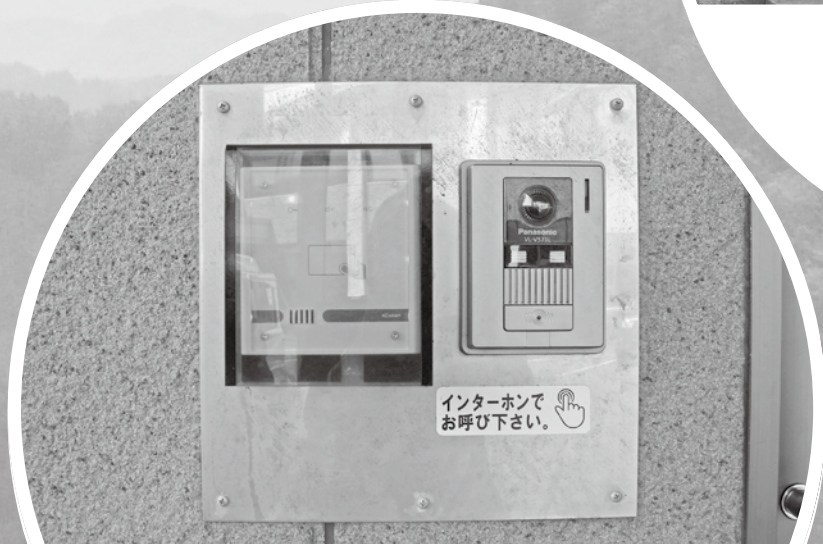
35万円



公園トイレの洋式化

仁王堂公園と名和公園のトイレを洋式化する

497万円



庁舎などのセキュリティを強化

本庁、各支所、保健福祉センターに電気錠や監視カメラを設置する

454万円

令和元年度に追加する主な事業